

## ②事業概要 学校名 滋賀県立八日市南高等学校

- 防犯を含む生活安全 ■交通安全 HSL 活動 東近江警察と周辺 5 校が取り組む防犯と交通安全の啓発活動
- 災害安全 東北ボランティア活動等の活動（計画した活動）

指定する地域名：岩手県陸前高田市・宮城県釜石市

### 2021 年度 八日市南高校東北ボランティア 9 次隊の報告

1. 目的
  - ・環境学習を推進する面からも、ボランティアに参加することによって未曾有の大震災を実際に見て、環境学習の必要性を深く理解してもらう。
  - ・本校の学校行事として、東北のボランティア活動を位置づけ、キャリア教育・防災教育の面からも息の長い活動としたい。
  - ・社会貢献活動として、「命の大切さを学ぶ教室」で発表し、本校に在籍する多くの生徒に東北の現状とボランティア活動について深く理解してもらう。
  - ・東北大震災の地に赴き生徒が実習で培った知識や技術を復興に役立てる。
  - ・被災地から学んだことを学校防災・地域防災へとつなげていく。
2. 期 日 2021 年 10 月 28 日（木）～31 日（日） 3 泊 4 日
3. 行き先 宮城県・岩手県一带
  - ・ 事後活動
    - 0) 活動報告書の提出
    - 1) 地域支援活動（子供食堂支援、障害者施設支援等）
    - 2) ボランティア活動についてのまとめを「命の大切さを学ぶ教室」での報告
    - 3) 雪っ娘カボチャ作り
    - 4) 東近江防災リーダー養成講座への参加

### ★震災遺構・気仙沼向洋高校伝承館

向洋高校（水産高校）の跡地に作られた伝承館で、2019 年に訪れたときは、12m の防潮堤も未完成で、パークゴルフ場もなかった。しかし、高い防潮堤が完成され平地からは海が全く見えなくなっていた。

また、伝承館の前にできたパークゴルフ場には大勢の人が訪れていた。震災遺構の側に娛樂施設を作って良いのかとの議論もあったそうだが、多くの方が来てパークゴルフを楽しみながら震災遺構を目にしてくれるのもいいのではないかと感じた。

防潮堤の上に登ると三陸のきれいな海が見え、この地域の方はこのきれいな景色を見て生活することができなくなったんだと思うと寂しくなった。



## 承館（向洋高校）での感想

震災当時津波は4階建ての校舎の屋上まで来ており、4階の教室にあった金属製の引き戸のさびで津波の到達点がはっきりわかった。また、この伝承館は当時の状況をそのまま残しているのので、3階の教室に突っ込んでいる車や海岸沿いに生えていた松やがれきが等が容赦なく教室に散乱しているのも見ることがた。その光景は、津波の破壊力の大きさをまざまざと伝えていた。

また、校舎の外壁には流されてきた水産加工場が高校をかすめた後もあり、直撃していたら、屋上に逃げていた方も危なかったし、高校の校舎自体もこの程度の被害ではすまなかったと説明していただいた。

この高校の海拔は1mでお寺は8m、陸前階上駅は16m、階上中学校は32mだった。危険を感じた生徒たちは教師の指示で階上中学校まで逃げ全員助かった。教師の判断で命が助かった例だった。

最後に映写室でみた階上中学校の卒業式のシーンは何度みても胸に迫るものがあった。

### 【生徒のメモより】

\*語り部さんのお話で心に響いたのは「自分の命は自分だけのものじゃない」という言葉でした。

だからこそ、自分の命をもっと大切にしないといけないと思いました。

\*車で避難して命を失った方が大勢おられた。・・・車での避難は大変危険だ！

\*灯り（懐中電灯）・水・食料の確保は必要。・・・備えの大切さ

\*津波に対しては、水平に逃げるのではなく垂直に逃げるのが大切

\*「100回逃げて空振りに終わっても101回目の避難指示が出たら必ず逃げて」という言葉

災害に対する備え 高校生でもできることはある 逃げることは恥ではない

協力することの大切さ

## ★陸前高田震災語り部ガイド

陸前高田では、5カ所が震災遺構として残された。

気仙中学校：屋上を越える津波が襲って来たが地震から12分後には、高台に逃げて全員助かった。防災学習の成果だった。この中学校は、防災教育のために遺構として残された。

奇跡の1本松とユースホステルは希望の証、7万本あった松の1本だけが助かった。（現在は加工処理されている）

陸前高田には、津波が12日の明け方まで8回来ていた。高いところで17.5mの津波が来て、4種類の油が海に流出し、火災が発生し2週間後にやっと鎮火していた。

### 【語り部さん】

会社にいて仕事をしている時、大きな地震に見舞われ脳が停止状態になった。（本人談）社長に確実に津波が来るから家に帰れといわれた。車のエンジンをかけたら時計は3時20分で、2時46分の大地震からの時間はパニックになっていた。車を出して5分後に津波が来た。親友やおじさんおばさんを亡くした。悲しいを通り越していたと涙ながらに語ってくださった。

住み慣れた町が全滅していた。今は高田にいながら違う町にいるような気がしている。自分の思いに耳を傾けてくれる人がいるかいなかで明日への生きる意気込みが違ってくる。せっかく助かった命でも、相談する人がいなければ死を選んでしまう。自分のことのように痛みを分かってくれる人を見つけてくださいとも語っておられた。震災を実際に体験し、その悲しみは10年経っても癒えることはないと思った。

また、語り部さんが私たちに是非とも見てほしいと教えてくださったのが、この震災で人々を助けに回って犠牲になられた消防団の方の慰霊碑でした。ひっそりと道ばたにある慰霊碑がかわいそうに思えた。

### 【生徒のメモより】

- \*改めて他の人の命も大切だけれども、一番大切なのはやっぱり自分の命なんだと感じました。また、もしもの時のために備えておくことの大切さも感じました。
- \*指定された避難所でも、93名の方が犠牲になられた。
- \*がれきが164万トンも出て、焼却場が2カ所必要だった。
- \*建物に避難してもそれ以上の津波が来たら流されるので、高台に避難した方がよい。
- \*懐中電灯、洗面用具、着替え、常備薬、水（200ml／日）、食料等は最低でも3日分は蓄えておいた方がよい。



### ★東日本大震災津波伝承館「いわて TUNAMI メモリアル」

非常に立派な施設で、1時間しか時間をとれなかったが、もっとゆっくり展示物を見ていたかった。展示物の中に津波の被害にあった消防自動車や水門の展示などがあり、はその当時の津波の威力を生々しく伝えていた。また、地震のメカニズムや地震当時の人の避難行動についても実際に目で見る事ができて大変勉強になった。

館内の動画や展示をゆっくり見る事ができなかったが、自然災害のメカニズムや地震・津波のメカニズムを学習するにはとても良い伝承館だと思った。



### 【生徒のメモより】

- \*日本は4つのプレートからなり、毎日どこかで地震は発生している。
- \*震災から7日間で16本中15本の幹線道路を開通できた。福島県の道路は放射線の影響で開通が遅れた。「くしの歯作戦」
- \*震災関連死も含めて1万9689名の方が犠牲となった。
- \*「助ける」「支える」「逃げる」の3つについて学びました。日頃の防災訓練や備えの大切さについて知ることができました。
- \*津波に巻き込まれてぐちゃぐちゃになった消防自動車の展示がありました。震災当時、一人でも多く助けられるように呼びかけをされていて被害に遭われた方がおられたこと
- \*約4割の方が避難しなかった。
- \*絵本「はなちゃんのはやあるき」は幼児の防災教育の参考になる。

## ★震災遺構・大川小学校（語り部さん）

2019年度に訪れたときには無かった伝承館ができていたり、道を挟んでビニールハウスができていたりしていて、とても整備は進んでいるように感じた。しかし、ここには震災前にはたくさんの民家があり、病院まであったとは想像もできないほど変わっていた。

「ここには町がありました 生活がありました いのちがありました

子どもたちがはしりまわっていました」このプレートを見ていっそう悲しくなりました。

また、ここは地盤沈下（70cm）があり、現在は非可住地域となっているが、川の周辺を現在も防潮堤の工事が続けられていた。行政と地域の方の思いには大きな溝があると感じた。



### 【生徒のメモより】

\* 「津波でんでんこ」：津波が来たらすぐに逃げろ、バラバラに逃げて絶対生きろ

\* 「みんな逃げないから」・・・大丈夫・・・じゃないことも知りました。

また、そのような心理状況が被害者を多く出した要因でもあった。

\* 隣近所の人が逃げている様子や「逃げよう」と声をかけてくださる方の存在によって助かった方がたくさんおられた。

## ★大川伝承館の見学

説明される方もいないので自由見学となった。被災された方の思いがあまり反映されていないと語り部さんが話されていた。ここにも宮城県・気仙沼市と実際にこの地域で被災された方々との心の溝を感じた。

## ★南浜・門脇ツアー（アプリを使用したプログラム）+MEET 門脇の見学

### 【生徒のメモより】

\* 避難訓練ができていた。また、引き渡しの約束が保護者にも周知されていた。大川小学校と比較するとすごく悔やまれる。

\* 大川小学校との比較になるが、やはり避難訓練・防災訓練の大切さを実感した。

\* 自然災害においては想定外は当たり前起こりうることを知った。

### 3) 滋賀県防災イベント

2021年12月11日(土) 滋賀県防災イベント (FM 滋賀、NHK)  
滋賀県危機管理センター



### 4) 防災レンジャー (幼稚園での防災啓発活動)

2021年12月20日: 中野むくのき幼稚園、マミーザチルドレン  
22日: 八日市幼稚園 幼稚園での防災啓発活動



### 5) 避難所体験

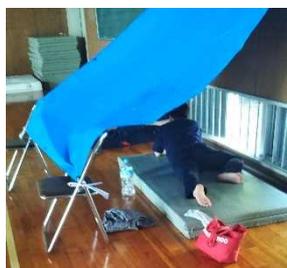
本校の武道場が避難所となるため、実際に電気と水が止まったという状況を想定して過ごす体験をしました。

① 2021年5月1日 コロナ禍のため日帰りの体験になりました。

- ア) 段ボールベッド作成
- イ) 湯せんでの食事作り

\* 段ボールベッドは寝るのには耐えられる強度があった。しかし、段ボールを集めておかなければならない。また、湯せんでの米炊き、おかずの湯せんでの暖めは出来ました。湯えんのような袋が必要。

② 2021年7月22～23日 暑い避難所で実際に宿泊出来るのかを体験しました。



道場にあるものを利用して寝床を作り、1泊の体験をしました。昼間は40度以上で室内にいることが困難な状況でした。夜10時を過ぎると室温も下がり寝ることが出来ました。しかし、蚊などの虫への対策が必要なので蚊取り線香なども必要でした。